

## 東三河支部

# 平成29年度豊川市総合防災訓練に参加 災害時、行政との連携強化を目指す

東三河支部（松井忠博支部長）は9月3日（日）豊川市、豊川市防災協議会主催の平成29年度豊川市総合防災訓練に昨年に引き続き参加しました。

この訓練は、大規模地震対策特別措置法、災害対策基本法及び豊川市地域防災計画に基づき、市及び各防災関係機関、自主防災会、防災ボランティア、災害時協定締結団体が総ぐるみで実践的な訓練を実施することにより、訓練参加機関等の地震災害時における相互協力体制の確立、民間防災体制の強化及び市民防災意識の高揚をかかせることを目的として実施されました。

当日は、陸上自衛隊豊川駐屯地訓練場をメイン会場とし、その他3か所、計4か所で、東海地震警戒宣言の発令がなく、静岡県沖、三重県沖を震源地としたマグニチュード9.0、震度6弱～7の地震が当地区を襲い、家屋の倒壊及び火災が発生するとともに、道路の崩壊による孤立集落の発生など、各地に大きな被害が発生し、また、津波による被害もみられることを想定に、参加人員700名、参加機関43団体、参加車両60台で行われました。

午前8時30分、地震発生直後に災害対策本部に職員が参集、災害対策本部運用となり避難勧告、避難誘導、続いて自主防災会、消防団、警察、消防署による倒壊家屋からの救助など本番さながらの訓練が始まりました。



また今年は何じめてドローン（小型無人飛行機）が導入され、救助訓練を上空より撮影し、情報を収集しました。



愛産協東三河支部は、災害廃棄物の処理の要請を受け、有限会社清水商店 松井祥悟氏が本部長である山脇 実豊川市長に「只今より、災害廃棄物処理作業を開始します。」と報告し、会場内を4tコンテナ車で周回しました。



報告を受ける本部長の山脇豊川市長

最後に本部長より講評があり午前10時30分訓練の全行程を終了しました。



愛産協東三河支部の状況報告を行う（有）清水商店 松井氏



支部会員をはじめ訓練に参加された皆さん